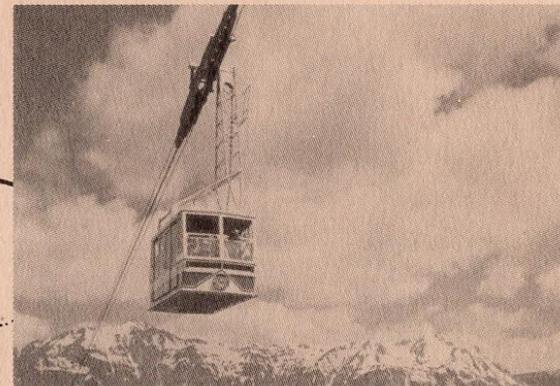


飛騨ウルトラマラソンコースマップ

飛騨ウルトラマラソン コース図



飛騨の里 (高山市)



新穂高ロープウェイ (上宝村)



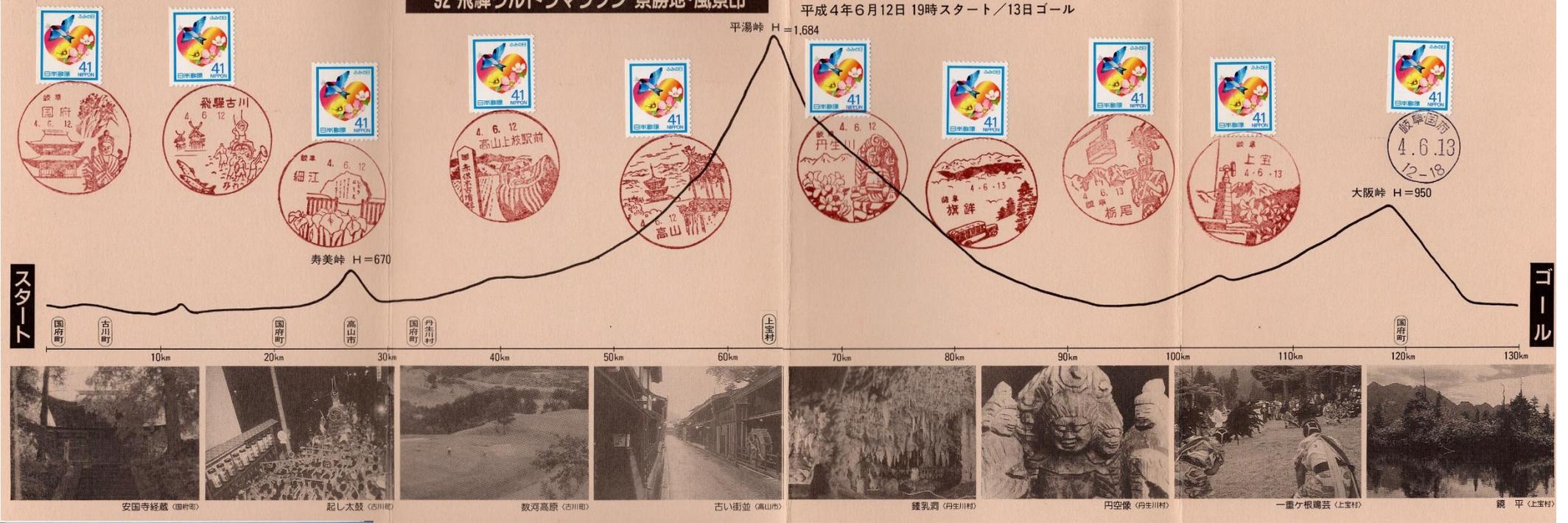
瀬戸川 (古川町)



乗鞍スカイライン (丹生川村)

'92 飛騨ウルトラマラソン 景勝地・風景印

平成4年6月12日 19時スタート / 13日ゴール



飛騨を走破して

飛騨から帰って早や2週間が過ぎ、体調もすっかり元に戻りました。今後は7月19日の皆生トライアスロンに向けて、自転車を中心にトレーニングに励んでいるところです。

さて、今回のウルトラマラソンでは、距離が崖崩れのために40kmあまり短縮されましたが、結論から言うと、このことは私にとって幸運だったと思います。予定どおり166kmであったなら、はっきり言って完走できたかどうかわかりません。完走できたもう一つの要因は、移動式エードステーションであったと思います。しかも、専用のエードステーションとして、ボランティアの皆さんがずっと一緒であったことは、大変有難く思いました。特に最後の大坂峠の上り坂では、サポートカーから降りて次のエードまでの4kmあまりを一緒に走っていただき、大変感激いたしました。本当に、ボランティアの皆さんには言葉では言い尽くせないほど感謝しております。私は、ウルトラマラソンとかトライアスロンに挑戦するたびに思うのですが、完走の条件として3つのことが挙げられます。まず、自分自身のトレーニングが十分に出来、かつレースでその成果をあますことなく発揮できること(自分との闘いに勝てること)。次に、レース当日の自然条件(天候・温度等)をうまく把握し、それに合わせたレースができること(自然との闘いに勝てること)。そして最後に、ボランティアの方々を中心とした地元の人々の声援・助力を受け、ふれ合いを楽しみながら走れること(人々とのふれ合いを自分のエネルギーにする)です。今回は、このうち、1番目の自分自身に勝つという課題には、やや不十分なものがありましたが、2番目の自然条件には恵まれ(坂がきつかったことは除き)、かつ3番目の人々とのふれ合いについては、これまで述べてきたように申し分ありませんでした。飛騨ウルトラマラソンの良さは、この地元の人々と選手とのふれ合いが十分に満喫できることにあると思います。今後、参加人数を増やすことも検討されると思いますが、参加人数が多くなっても、この「ふれあい」が稀薄にならないような大会として、ずっと続けていかれることを望みます。私も、もう一度、今度は166kmの距離を目指して、飛騨ウルトラマラソンに挑戦してみたいと思っています。現段階では、それが来年になるか2、3年先になるかは未定ですが、必ずもう一度挑戦したいと思っていますので、その時はまたよろしくお願ひします。

1992年6月28日(日)

1992
飛騨ウルトラマラソン
H4・6/12
6/13
完走者



飛騨ウルトラマラソンもはや2ヶ月近く過ぎようとしています。

その後お変わりございませんか。

余り食べなかったのによく最後まで走られたものだと

感心しました。

私も、ボランティアをやったのは、初めてですが、ランナーとして

他のウルトラに参加したとは違った感動がありました。

飛騨ウルトラ程、地域が応援してくれる大会はありません。

あの後、民宿助五郎から宇津江48滝までジョグで往復しましたが、

会う人々から、色々声をかけられました。

皆さんで応援してくれたのが、よく分かりました。

来年は私も是非166Kmに応募したいと思います。

遅れましたが、写真がやっと出来ましたので、

少ないですが、お送りします。

なかなかうまく撮れなかったので、残念です。

私は、8月1～2日の琵琶湖一周マラニックに参加します。

ディバックに着替え、水筒、緊急用の食料も全て背負って

真夏の琵琶湖を一周するのは大変ですが、楽しく完走するため、

但し頑張り通さないで、きつくなったら楽になるように色々

考えて走ります。

又どこかの大会でお会い出来た時はよろしく。

写真説明 1. スタート

2. 88km地点。もう明るいのですが。

3. 112.8km地点あるいてしまった所

4. 後2km位でゴール。車はお先に。

No.2

12月15日

追伸！ 体に気をつけて、いつまでも走ってください。

サポーター 西田利之の車から入
びました。

サポーターなら。

ふんふん スターの 奮闘ぶり 是非おし下さる。

それでは 又の再会を 祈ります。

所々、私どもの名は 鴻野旅館の裏にあり、あの野泊場から来た

マラソン以外の 飛騨にみえまときがあり、是非知らせて下

さい。私どもの名は 鴻野旅館の裏にあり、あの野泊場から来た

所々、私どもの名は 鴻野旅館の裏にあり、あの野泊場から来た

所々、私どもの名は 鴻野旅館の裏にあり、あの野泊場から来た

所々、私どもの名は 鴻野旅館の裏にあり、あの野泊場から来た

所々、私どもの名は 鴻野旅館の裏にあり、あの野泊場から来た

所々、私どもの名は 鴻野旅館の裏にあり、あの野泊場から来た

所々、私どもの名は 鴻野旅館の裏にあり、あの野泊場から来た

下田様

No.1

もともと早くに送らねばと思いつつとうとう冬になつてまいり、甲し
誤なく思ひます。

あまりうまく送つてないのをごめですが、受けとって下さい。

大会後すぐ送つておりましたが、家族の入院・手術・通

院・としままで病室も家族に縁のなかつた病気に悩まされ、それ

どこもありませんでした。秋も終り、やっと冬も落ちつき、

やみやれと思つた所へ、大会出場された、方々の回顧録が配付マ

せ、フアリヤ、忘れとら、あまゝ早、早夏送つてあげよ。と主人に

言われ、やっと準備が出来、今日にりたりしました。

何と私がとびつて、あつた時の感動を思い出せば

心をと 取るすにいらぬやせん。あつた時の感動を思い出せば

ほんとうに完走できてよかったです！ あめとどうございました。

苦しい所も何箇所かあったと思ひます。

やめようかと思われた所も あつたのでは？

ほんとうに御苦労様でした。

又、参加されたこと、もういっと思ひます、その時も又

サポーターが出来たらいいねと主人と話してあります。

マラソン以外の 飛騨にみえまときがあり、是非知らせて下

さい。私どもの名は 鴻野旅館の裏にあり、あの野泊場から来た

所々、私どもの名は 鴻野旅館の裏にあり、あの野泊場から来た

